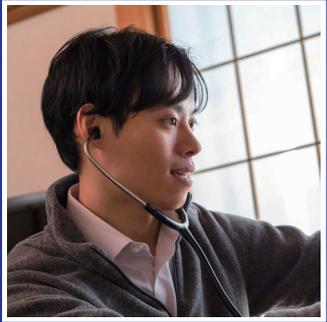


Fast DOCTOR

応募団体 **ファストドクター株式会社****2025 年を展望した地域医療体制
～時間外救急プラットフォームの可能性～**

登壇者プロフィール

氏名：菊池 亮**所属：ファストドクター株式会社**
役職：代表取締役 医師

2010年帝京大学医学部卒業。帝京大学医学部附属病院、関連病院にて整形外科に従事後、2016年にファストドクター株式会社を創業し代表取締役役に就任。帝京大学医学部救急医学講座を兼務。日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、一般社団法人日本在宅救急医学会評議員。

団体概要

ファストドクター株式会社は、患者と医療機関をつなぐ時間外救急プラットフォーム「ファストドクター」を提供している。2040年に向けて高齢者人口が増加する都市部（東京・神奈川・千葉・埼玉・大阪・兵庫・京都・奈良）を中心に、救急相談・救急オンライン診療・救急往診・診療後のフォローアップといった、自宅に居ながら安心して診療が受けられる環境を実現し、通院が難しい患者の救急受診を支援している。さらに、地域の医療機関との連携で、かかりつけ医機能の強化や、患者のかかり方の適正化を推進している。

高齢化で救急需要が高まる中、良質な救急医療体制の維持は喫緊の課題である。特に夜間休日の時間外においては、患者の多くは軽症である一方で、軽症患者の受け皿が不足しており、高度な医療を提供するための医療機関に患者が集中してしまう課題や、不急の患者が救急車を利用してしまふ課題は、過去の総務省や厚労省の報告からも明らかである。ファストドクターは、こうした社会的課題を解決するために、365日体

制の時間外救急プラットフォームを構築した。これまで夜間に通院困難な患者は救急車に頼らざるをえなかったが、ファストドクターの救急相談、救急オンライン診療、救急往診というソリューションにより患者の選択肢が多様化した。患者の選択肢の多様化は、受診行動を適正化し、救急医療全体の持続可能性を高めることに寄与している。